

平成 25 年 3 月 27 日

平成 24 年度大学改革推進等補助金事業実施報告書 (HP 掲載用)

所属診療科名 整形外科
派遣先病院名 北部地区医師会病院
氏 名 仲宗根 哲

1. (本学附属病院及び派遣先病院で実施した業務の概要)
① 股関節疾患に対する3次元的な骨形態の解析や術後の3次元的な評価方法の取得 ② 股関節に対する動態解析を行い、股関節の可動域や股関節疾患を有する患者の動作を評価および解析 ③ 地域住民の高齢化に伴い慢性関節疾患を有する患者を抱える一方で、医師不足に陥っている北部地域の医療圏において、整形外科専門医として北部地域基幹病院である北部地区医師会病院にて整形外科専門診療を行った。
2. (本学附属病院及び派遣先附属病院業務の詳細)
① 股関節疾患のCTデータから3次元股関節モデルを作成し、3次元的な骨形態の解析や術後の3次元的な評価を行い、患者個々における手術計画の確立や術後の詳細な成績不良因子を解析した。 ② 3次元股関節モデルを使用し、股関節の臼蓋と大腿骨が衝突するまでの可動域や股関節疾患を有する患者の動作を評価および解析した。 ③ 外来診療では、整形外科専門医の立場から他科からのコンサルテーションを受け、患者個々に合わせた適切な治療方針を提言した。また、変形性関節症といった退行性変性疾患の患者には、生活指導を行った。急性期疾患である外傷などについては、患肢固定後に生ずる関節拘縮に対して適切なりハビリテーション指導を行った。また、看護師や研修医に対してはベッドサイドや講義形式のレクチャーを通して骨折や慢性関節疾患に対しての教育指導を行った。
3. (当該業務の成果)
① 股関節疾患に対する3次元的な骨形態の解析を行った結果、これまでの単純レントゲン写真では正確でなかった長さや深さ、角度までが正確に手術計画をすることができた。また、3次元的な人工関節の設置角度や股関節骨切り後の骨切り骨片の評価を行うことにより、術後の成績不良因子を解析した結果を手術計画に反映させることができた。これらの研究結果を県内で開催された関節研究会および県外での日本股関節学会で発表し、同様な研究者と討論することができた。 ② 股関節に対する動態解析を行い、正常股関節の可動域が男女間で異なることや股関節疾患の種類で異なることが解析できた。これにより、股関節機能再建術における手術の具体的な目標角度を設定することができ、人工股関節の設置角度や股関節骨切り術の骨切り骨片の移動距離や角度の計画に反映させることができた。 ③ 地域住民の慢性関節疾患に対して生活指導や薬物治療を行い、患者の疼痛緩和や関節機

能の改善を行うことができた。急性期疾患である外傷に対しては、疼痛緩和のための患肢固定やその後のリハビリテーションの指導を行うことにより機能障害をきたすことなく治療することができた。